

令和4年9月12日（月）

（午前9時30分 開議）

○議長（小林 弘君）皆さま、おはようございます。

ただ今の出席議員数は17人で、定足数に達しております。

○議長（小林 弘君）これより本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（小林 弘君）これより日程に入り、日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において、3番 南出君、14番 樽井君の2人を指名いたします。

日程第2 一般質問

○議長（小林 弘君）日程第2 一般質問を行います。今回の一般質問の通告者は14人であり

ます。質問は会議規則第62条の規定により、別紙の順序により発言を許します。

順番1、11番 杉本君。

〔11番（杉本俊彦君）登壇〕

○11番（杉本俊彦君）おはようございます。

先日からですが、静岡県牧之原市の認定こども園で、3歳の女の子が通園バスに置き去りにされて亡くなっております。昨年7月には、福岡の認可保育園で5歳男児のバス車内置き去り死亡事件が発生し、現場の管理もずさんさが際立っておるところであります。7日に行われた園側の会見では、送迎バスを運転していた園長と乗っていた職員は誰一人として、幼児全員がバスから降りたかどうかを確認していなかったことが判明したということで、非常につらい

話をよくもまあするなという気持ちを持って聞いておりました。こんなことは二度とないやろうと思っておりましたが、遡ること2007年にも、北九州市で保育園の送迎車に取り残された2歳男児が熱中症で亡くなっております。

なぜ園児の送迎バスで同じ悲劇が繰り返されてしまうのかということを考えますと、胸が痛くてたまりません。新しい形のセンサーの開発だとか、シートベルトだとかいろいろ検討はされているものの、これといったものはありません。今、頑張ってもらえる1人の元保育士にお尋ねしたところ、保育士はもし乗っていた場合、車の底を見ますと。子どもは水筒とかをよく落としてしまうそうですわ。だから、必ず最後は見渡して、忘れ物がないかどうかのチェックだとか、まさか人が残っているだとか、あり得ないことやけども、そこらはちゃんとチェックして降りるようにしているというふうな話でした。

にもかかわらずこういうことが起こっている限り、何か対策をしなくてはいけないと。普通に考えれば、海外、アメリカでしたですかね、一番後ろにボタンがあって、中をチェックしたときに奥まで行った人はその一番後ろのボタンをたたくと。そうして前にだんだん来るといような形の、簡単なシステムじゃないんやけども機械が取り付いておりますし、何とか今のままでもすぐ対策が打てるんじゃないかなというふうに思って悔しくてたまりません。再び子どもが犠牲にならないためにも、より実効性のある対策が求められると考えておりますが、橋本市内のこども園の方々は、送迎バスにおいて何らかの対策を打っておるということを信じております。

あそこのこども園のバスを見ましたら、楽し

そんな絵を描かれていましたが、外から見たら中が見えない状況です。もしかしてあそこが透明であれば、外を通った人がおるならば、あの子どもを助けられたかもしれませんし、どないかした対策を打てばどないかなったん違うかなと、自分自身の力のなさといおうか、それを反省しているばかりです。いろんな形でシステムのものをいろいろ言われていますが、最終的にチェックするのは人間です。バスに乗っていた人が最後降りるときに必ずチェックをして鍵を締めてくれたら、こんなことはないんであろうと想像しておりますが、橋本市でこういうことがないことを祈っております。もちろん日本中でないことを祈っております。

さて、一般質問ですが、私は本市のデジタル化についてお尋ねいたします。

国が掲げるデジタル社会のビジョンである「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会、誰一人取り残さない人に優しいデジタル化」、この実現に向け、住民の利便性向上や本市の業務効率化などを目的としたデジタル化を推進する各種施策についてお尋ねいたします。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君の質問、本市のデジタル化に対する答弁を求めます。

総合政策部長。

〔総合政策部長（土井加奈子君）登壇〕

○総合政策部長（土井加奈子君）おはようございます。

本市のデジタル化についてお答えします。

令和2年12月に、総務省が自治体DX推進計画を策定し、行政手続きのオンライン化や推進体制の整備など、自治体が重点的に取り組むべき事項が示されました。

本市においては、令和3年度に橋本市DX推進本部を設置し、市長をトップとして全庁横断的な体制を整えています。デジタル化に向けた

取組として、昨年度からデジタル窓口案内サービスの導入に取り組み始め、本年5月から運用を開始しています。

デジタルデバインド対策として、スマホ教室の開催やマイナポイント事業を活用した積極的なマイナンバーカード普及啓発事業を実施しています。

今年度は、オンライン申請可能な行政手続きを増やすため、既存の電子申請サービスに加えて、講習会の申込みや新型コロナウイルスワクチン接種券の発行申請など、汎用的に利用できる電子申請基盤の構築を進めています。また、デジタルデバインド対策としての遠隔窓口システムの導入も実施予定です。

今後は、橋本市DX推進計画を今年度に策定し、広く住民がデジタル化の恩恵を受けられるよう、デジタルデバインド対策と併せ暮らしの利便性向上を図るとともに、行政事務の効率化も併せて推進したいと考えています。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君、再質問ありますか。

11番 杉本君。

○11番（杉本俊彦君）ありがとうございます。いろいろな形で普及されているようなのが分かりました。

それでは、再質問なんですけれども、今から1年10か月ほど前に国からの通達があつて、令和4年度末にはほぼ全国民に行き渡ることをめざしていく旨、マイナンバーカードを国民に配るという普及拡大に向けて取組を進めていくべく、当時の総務大臣から橋本市長にも書簡が出ておると思います。地方公務員等のマイナンバーカードの取得については、地方公務員等のマイナンバーカードの取得の推進についてということの依頼も出ておりますが、より一層の取組を依頼させていただきたいということで、橋本市の職員の方、どれぐらいのパーセンテージでマイナンバーカードを出されている

か、お答えをお願いします。

○議長（小林 弘君）総合政策部長。

○総合政策部長（土井加奈子君）7月末のデータではあるんですけども、マイナンバーカードを申請している職員につきましては70.2%、それから、既已取得している職員につきましては68.8%です。9月8日にも再度通知をし、職員のマイナンバーカードの取得の啓発をしているところでございます。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君。

○11番（杉本俊彦君）それでは、橋本市においてなんですけれども、マイナンバーカードの件でお尋ねします。普及促進ということで、いろいろな形でされておるのは分かっておりますし、今も市役所の1階へ行けば、ロビーであったり、奥に特設会場を設けて人員も配置して、市民課の方というか課長をはじめ、みんなで大変忙しい毎日を送っておると思いますが、簡単に橋本市民の方のマイナンバーカードの普及率について教えてください。

○議長（小林 弘君）総務部長。

○総務部長（井上稔章君）ただ今のおただしにお答えいたします。

普及率ということなんですけれども、国のほうで示されているのが今、交付率という形になりますので、それを基にご説明させていただきます。

最新の取りまとめといたしましては、令和4年8月31日現在となりますが、地方公共団体情報システム機構の公表数値によりますと、マイナンバーカードの申請されている率、申請率が58.3%、それに対して交付率が50.0%となっております。

以上です。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君。

○11番（杉本俊彦君）本市では、マイナンバーカードを申請した人が50%を超えたということは、今度は申請していない人のほうが少ない

という形になる。心理を追っかけていたら、自分は少数派のほうに入っていたら、どないかして、そんなんやったらかなわんわということ駆け込みが発生するかもしれませんが、これもものすごいうれしい話でありまして、1階のホールや会議室でマイナンバー関係で人員増強してキャンペーンしているように見えるんですけども、どのような体制でやっているのか。また、ほか、普及促進のために取り組んでいることはあるのかどうかお尋ねします。

○議長（小林 弘君）総務部長。

○総務部長（井上稔章君）ただ今のご質問にお答えいたします。

議員おっしゃられておりますように、50%を超えたところで、最近ではご覧いただいたら分かると思うんですが、交付、それからマイナポイントの申請という方がかなり増加してきました。これらに対応するために補正予算を計上させていただいて、今回通していただいて、1階のホール及び会議室におきましてマイナンバーカードの申請、それからカードの交付、更新、マイナポイントの申込みサービス、それからコールセンターなどを現状運営しているところでございます。

体制につきましては、当初、事業委託となっておりまして、委託事業者から4名、市の会計年度任用職員からの4名の8名で対応しておりました。しかしながら、昨今、かなり交付の申請等が増えておるところでございまして、8月末からは、委託事業者が6名、市が4名の計10名での体制となっております。

そのほか取組といたしましては、令和2年度から区自治会にご協力いただいて、出張申請所を月1回のペースで市内各所で開設をしていること、またマイナンバーカードの交付につきましては、月1回ではございますが、平日の金曜日の夜8時までの時間外交付を行っている

こと、それから同じく、月1回、日曜日の9時から15時までの休日交付なども実施しております。また、令和3年度におきましては、市内の高等学校2校への出張申請所の開設等も行いました。

今後も様々な対応をすることで、交付率を上げていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君。

○11番（杉本俊彦君）ありがとうございます。国の指針からいいましたら、例えば橋本市でいえば、マツゲンやオークワなどの市内大手スーパーでも来客は多いんですけども、そちらでもやればどうかというのは載っておるんですが、橋本市はそういうスーパーとかで申請所とかを特設してつくっておることはありますか。

○議長（小林 弘君）総務部長。

○総務部長（井上稔章君）国、県と連携してというところではありますが、昨年度にマツゲンの高野口店、それからスーパーセンターオークワでこれらの取組を実施しております。市での単独事業での開催ということではございません。

ただし、現在、9月末までに申請をした方にはマイナポイントをというようなところでかなり人が増えてきているってところもあるんですが、マイナポイントの申請に際しまして、マイナンバーカードの暗証番号の設定に際して、これが必要になってくると。どうしても外で実施しますと、「暗証番号を忘れたんや」というような方がかなり多うございます。その場合、再設定をする必要がございますので、また二度手間というようなケースもありますので、市役所の窓口で会場を設定することで、そういうことが防げるというようなメリットもございますので、そちらの方向で進めていきたいなというふうには思っております。

以上です。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君。

○11番（杉本俊彦君）分かりました。

それでは、国は今年度末までに交付率100%をめざすと言っているんですけども、それであればたくさん申請窓口が必要だと思うんですけども、こんな形でいろんな窓口を多くしてほしいのと、金曜日だけ晩の8時じゃなしに、あと9月末で終わるというのであれば毎日でもやってほしいし、この間、おとつい、土曜日ですが、されていましてすよね、市役所で。この間、来たんですけども、あれ、土曜日でもやっているやんというような確認をさせていただいております。

やっぱり交付率は上げるのにこしたことがなくて、めざす100%やけど、どれぐらいを目標として、だから、動いておるのかお聞かせください。

○議長（小林 弘君）総務部長。

○総務部長（井上稔章君）もちろん休日でもですけども、この間の金曜日にも時間就業後というんですかね、実施させてもらって、昼間かと思いがうぐらいの方が来てくださっております。それらのところも対応をどうしていくかというのは今後の課題ではございますが、やはり100%をめざすというところは変わらないんですけども、どうしても取得できない方、もしくは取得を拒まれる方というのも現在いらっしゃるのも事実でございます。本市としては80%をめざして、まずは目標として達成すべく動きたいと考えております。

以上です。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君。

○11番（杉本俊彦君）ありがとうございます。拒む人の理由をいろいろ尋ねているんですけども、多くは通帳とひもづけを行うと、その一つの通帳だけじゃなしに、通帳側から連続してほかの通帳にまで波及するんじゃないかなということ非常に心配されている方がいる

んですけれども、そんなことはないということ
を、通帳を、それを出せばその通帳に対して、
何のためにその通帳の登録をしてほしいか
ということをお話しいただけますか。

○議長（小林 弘君）総務部長。

○総務部長（井上稔章君）通帳を登録する大きな目標の一つとしまして、公金の振込等が個人を確認することなく実施することができる、こういうところがあります。例えば、今回の国会で議論をされている非課税世帯に5万円をというような話もあろうかと思いますが、今まだ普及自体がどうなっているかということで対応は未定にはなるんですが、そういった場合にも申請書を頂戴するだけですぐ振り込める。あとは、市からの還付金、税の還付等がございましたら、登録いただいていますとすぐ振込みができる、こういうようなメリットが大きくなると思います。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君。

○11番（杉本俊彦君）そういうことで、これをやっていただいたら7,500ポイントをつなぎ合わすと。そして、健康保険証もつなぎ合わせてくれたらまたさらに7,500ポイントが入ると。これで1万5,000ポイントゲットということですね。これは非常に有効だと。だってこんなにたくさんの方がいっぺんに来てくれているんですし、6割ぐらいの人が申請をしてくれているということはやっぱりすごい。なかなかこういうことを市民が積極的に来るということはなかったことで、またよかったなというふうに思っております。

80%をめざすということで、あと交付がどれぐらいの数が必要なのかということをお教えください。

○議長（小林 弘君）総務部長。

○総務部長（井上稔章君）先ほどの交付、8月31日の時点での人口から申しますと、8月31日時点の人口が6万456人となっておりますので、

80%といたしますと4万8,365枚が必要となります。現在、交付数が3万517枚ですので、あと1万7,848枚の交付が必要となります。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君。

○11番（杉本俊彦君）大変なのは分かりますが、橋本市の取組としては大変頑張っていただいておりますということをお承知しています。目標達成まではまだ遠い道のりですが、工夫しながら頑張りたいと思います。

ところで、現在、マイナンバーカードの普及促進のために国がマイナポイントを配っていますが、マイナポイントの受け取りは来年2月末と聞いていますが、それでいいのでしょうか。

○議長（小林 弘君）総務部長。

○総務部長（井上稔章君）マイナンバーカードを取得していた人が、今お話ありましたように公金登録ですとか健康保険証の利用登録などを行った場合、最大で2万円相当分のポイントを受け取っていただけるという制度のことだと思いますが、このポイントにつきましては、議員がおっしゃられたように来年の2月末となっております。

しかしながら、気をつけていただきたいのが、ポイントをもらえる方の条件といたしまして、現在では、令和4年9月末、今月末までにマイナンバーカードを申請した方がポイント付与の対象者となっておりますので、気をつけて、できるだけ早い申請を、まだの方はぜひお願いしたいと思っております。

以上です。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君。

○11番（杉本俊彦君）ありがとうございます。マイナンバーカードは今月までに申請しないとポイントが頂けないということで、私、てっきり来年の2月までかなと思っていたんですが、この9月でやらないと、やった後、カードさえ作っておけば、来年の2月までひもづけしても7,500ポイントがもらえるというふうな理

解でよろしいですね。お願いします。

○議長（小林 弘君）総務部長。

○総務部長（井上稔章君）現在、9月の末までに申請いただいた方は、2月の末までにポイントの申請をした場合、ポイントが交付されるとなっております。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君。

○11番（杉本俊彦君）引き続いてちょっと形ちゃうんですが、テレワークの推進についてなんですが、テレワークというのがまた同じような形の中で、打合せじゃないけど話のときには言うてなかったんですけども、在宅勤務とかモバイルワーク、あるいはサテライト、ワーキング、ワーケーションなど、この辺は橋本市として、市役所の職員として、このテレワークについてはどのようにお考えかお教えください。

○議長（小林 弘君）総合政策部長。

○総合政策部長（土井加奈子君）働き方について、国のほうから多様な働き方ということで在宅勤務、それからサテライトオフィス勤務、モバイルワークなど、議員おただしのように種々、働き方ということであるんですけども、本市としましては現在、仕事と家庭の両立の支援でありましたり、業務効率の向上、それから非常時の業務継続等を目的に在宅勤務ということを導入するということが要領を作っております。

現在については、新型コロナウイルス対策の関係で、自宅のパソコンを利用して職場のパソコンをリモートで操作できるシステムを導入している状況でございます。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君。

○11番（杉本俊彦君）ありがとうございます。進めていっていただいて、どんどん時代の流れに乗っていただければと思っております。

マイナンバーカードでの申請の際に、また住民の方からいろいろ相談を受けておるんです

が、写真を持って行かないかあかんのかってよく言われるんですけども、写真は行ったら撮ってくれるよって一々言わないと勘違いされる方が多いので、そのところは、市は無料で撮りますということをもっとアピールしていただければと思っております。

それと、最後なんですが、マイナンバーカードを持っていなくても、80%目標なら残り20%、もらえる方、もらえない方、いろんな方がおるので、20%の方は持っていないということにおいて、もちろん8割もできたら今まで送っていた郵送代、印刷代が8割削減できるんですから、ものすごいええことやというふうに思うんですけども、その2割の方がサービスから放っておかれることがあってはいけないので、そのところもやはりちゃんとカバーしていただけるように市にお願いして、私の一般質問を終わります。

○議長（小林 弘君）11番 杉本君の一般質問は終わりました。

この際、10時15分まで休憩をいたします。

（午前9時58分 休憩）
